

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### (1) 学生の確保の見通し

##### ① 定員充足の見込み

入学定員増加を行う人間関係学科社会学専攻及び社会・臨床心理学専攻の入学定員設定の考え方であるが、人間関係学部において収容定員の総数を変更しないで両専攻の入学定員増加を行うことが前提となっている中で、資料1「編入学志願状況等」のとおり志願倍率がかなり低い人間関係学部の編入学定員30人をなくして両専攻の入学定員増加に充当することも考えられるが、その場合は各専攻入学定員82人、収容定員328人となり、これまでの実績に近い数字まで編入学定員を削減して両専攻の入学定員増加に充当した場合の各専攻入学定員80人、編入学定員4人、収容定員328人と比較してみたところ、収容定員は同じで入学定員は2人差と小差であったため、第一に、両専攻とも1学年2クラスなので、入学定員5人増加の方が1・2年次1クラス当たり2、3人の増加で済んでクラス運営に好都合であること、第二に、少ないながらも志願者が存在する編入学定員を存続できること、を優先し、各専攻入学定員80人、編入学定員4人、収容定員328人、人間福祉学科入学定員100人、編入学定員2人、収容定員404人とすることとした。

定員充足の見込については、過去5年間の志願者数等は資料2「入学志願状況等」のとおりで、志願者数が入学定員を、今回の入学定員増加幅以上に大きく上回っていること、まだ緒に就いたばかりではあるが国が東京都特別区以外の地域の大学の振興等に注力することとしていることから、入学定員を各専攻80人としても十分学生を確保できると考える。

なお、人間関係学科社会・臨床心理学専攻では平成30年度から公認心理師養成を、人間福祉学科では平成31年度から職場適応援助者（ジョブコーチ）養成を、それぞれ開始しており、入学者数・編入学者数の増加に資するものと期待している。

##### ② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

入学定員増加を行う人間関係学科社会学専攻及び社会・臨床心理学専攻の定員充足の根拠となる客観的なデータは、前述の資料2「入学志願状況等」のとおりで、志願者数が入学定員を、今回の入学定員増加幅以上に大きく上回っており、平均志願倍率はそれぞれ6.20、5.52と、大学の都心回帰が多く見られた地域にあって、高い水準にあると言える。

編入学定員については、前述のとおりで、これまでの実績に近い数字まで削減したものであるため、年度によってばらつきは出るかもしれないが、ほぼ充足できるものとする。

#### (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

オープンキャンパスを年5回開催しており、資料3「オープンキャンパス来場者数」のとおり毎年多くの来場者があり、たいへん好評である。平成28年度に来場者数が一旦落ち込むが、多摩キャンパスに所在した社会情報学部、比較文化学部の千代田キャンパスへの移転に伴って、オープンキャンパス対象学部が減少したためであり、この間においても、特に人間関係学科の学科ガイダンスの参加者数は格段に増加していて、関心の高さをうかがい知ることができる。

また、毎年6月には本学において、高校教員を対象とした入試説明会を開催している。全体説明や個別相談を行っており、毎年100人前後の高校教員が参加していて、盛況である。

その他、予備校や新聞社等が開催する進学相談会は年90回前後、高校における進学説明会は130校以上で行っているほか、本学における公開授業や高校における出張授業などの高大連携事業、本学の地域連携推進センター主導による地域連携プロジェクト等を積極的に行って

おり、本学のアピールに努めている。

## 2 人材需要の動向等社会の要請

### (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学は、その目的を以下のとおり定めている。

本学は教育基本法に基づき、学校教育法に定めるところに従い、広く知識を授けると共に深く専門の学芸を教授研究して、応用的能力の展開と人格の完成に努め、高い知性と豊かな情操を有する女性の育成を目的とする。

そして、これに適合させる形で、学科・専攻における「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」を定めている。

収容定員変更を行う学科・専攻における「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」は、以下のとおりである。

#### <人間関係学部>

「共生社会」の実現を目指して、さまざまな人々や社会と共存するための知識を学び、人間関係や社会についての洞察力を身につけ、人間の幸福や福祉についての深い理解を修得し、柔軟な想像力・すぐれた問題解決能力・実践力を備えた心豊かな人材を育成する。

#### 《人間関係学科》

社会学専攻では、社会学的想像力と社会調査のスキルを備え、幅広い視野と柔軟な発想を持った人材を育成する。

社会・臨床心理学専攻では、人間関係にまつわる問題に、適切に対処できる「人間関係力」を備えた人材を育成する。

#### 《人間福祉学科》

生活を送る上でさまざまな課題を持っている人々が、「共生」できる社会を創ることに貢献できる人材を育成する。

### (2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

学校法人大妻学院は、創立110周年を期して平成30年度に、同学院のミッションを以下のとおり定めている。

- ・ 学び働き続ける自立自存の女性の育成  
建学の精神を継承するとともに、常に時代の変化に適応し、「学び働き続ける女性」として社会のあらゆる分野に主体的に参画貢献できる自立した女性の育成を目指す。
- ・ 女子教育に積極的な役割を果たす教育・研究活動  
人間生活文化活動の多方面に亘る真理考究において、積極的な役割を果たす研究業績を積み重ね、社会の負託に応えられるような教育・研究機関を目指す。
- ・ 持続可能な共生社会の実現への貢献  
地域住民や国内外の企業及び行政機関あるいは教育機関等との協働活動に積極的に参画し、社会から信頼を受け、慕われ愛される存在として持続可能な共生を目指す。

また、本学は、このミッションを推進するために必要な教育目標を以下のとおり定めている。

- ・ 総合的な人間教育により社会の構成員としての自覚と識見を有する自立した人材を育成する。
- ・ 男女共同参画社会において、グローバルな視野を持ち中核的な指導的役割を果たす

ことができる専門的職業人女性を育成する。

- ・ 女子高等教育において、教育分野及び研究分野の女性後継者を育成する。
- ・ 地域・社会との連携において、指導的役割を果たせる女性を育成する。

これらの教育目標に掲げられているものは、現代社会で求められている人材であり、このミッション・教育目標が根幹をなしている上記(1)の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」は、社会的・地域的な人材需要の動向等に合致したものである。

資料4「就職希望者に占める就職者の割合」は、入学定員増加を行う人間関係学科社会学専攻及び社会・臨床心理学専攻の過去5年間における就職希望者に占める就職者の割合を示したものである。86%以上で推移しており、ここ3年間に至っては98%前後と、就職希望者はほぼ全員就職することができるという状況である。

また、本学への求人についてであるが、資格が必要な特定業種を除き、ほとんどが対象学科・専攻の指定がないものとなっており、特定の学科・専攻に限定した求人受理件数としては数値化することはできないが、本学全体の状況は資料5「卒業者に対する求人受理件数の割合」のとおりであり、平成30年3月卒業者対象の求人受理件数の割合は過去5年間で最も高く、8.5倍となっている。1件の求人票で複数名の求人もあることから、実際はこの求人票受理件数以上の求人がきており、また、景気の緩やかな回復や人手不足などを受けた企業の採用意欲の高まりは今後も続くことが予想されるため、十分な人材需要があると考えられる。

## 資料1

## 編入学志願状況等

学部等名	項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
人間関係学部 人間関係学科 社会学専攻	編入学定員	10	10	10	10	10
	志願者数	3	2	3	5	2
	受験者数	3	2	2	5	1
	合格者数	3	2	2	5	1
	編入学者数	0	2	1	4	1
	志願倍率	0.30	0.20	0.30	0.50	0.20
	編入学定員超過率	0.00	0.20	0.10	0.40	0.10
社会・臨床心理学専攻	編入学定員	10	10	10	10	10
	志願者数	1	1	4	1	1
	受験者数	1	1	4	0	1
	合格者数	0	1	2	0	1
	編入学者数	0	1	1	0	1
	志願倍率	0.10	0.10	0.40	0.10	0.10
	編入学定員超過率	0.00	0.10	0.10	0.00	0.10
人間福祉学科	編入学定員	10	10	10	10	10
	志願者数	6	2	1	3	0
	受験者数	6	2	1	3	0
	合格者数	3	2	1	3	0
	編入学者数	3	1	1	2	0
	志願倍率	0.60	0.20	0.10	0.30	0.00
	編入学定員超過率	0.30	0.10	0.10	0.20	0.00

## 資料2

## 入学志願状況等

学部等名	項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
人間関係学部 人間関係学科 社会学専攻	入学定員	75	75	75	75	75
	志願者数	469	277	339	506	736
	受験者数	452	271	322	493	725
	合格者数	195	185	224	278	150
	入学者数	90	89	92	101	94
	志願倍率	6.25	3.69	4.52	6.74	9.81
	入学定員超過率	1.20	1.18	1.22	1.34	1.25
社会・臨床心理学専攻	入学定員	75	75	75	75	75
	志願者数	522	393	383	392	381
	受験者数	505	370	373	382	373
	合格者数	162	201	169	144	169
	入学者数	90	90	91	91	91
	志願倍率	6.96	5.24	5.10	5.22	5.08
	入学定員超過率	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21
人間福祉学科	入学定員	100	100	100	100	100
	志願者数	336	311	308	307	357
	受験者数	324	302	295	295	346
	合格者数	262	281	255	222	224
	入学者数	110	100	100	104	111
	志願倍率	3.36	3.11	3.08	3.07	3.57
	入学定員超過率	1.10	1.00	1.00	1.04	1.11

## 資料3

## オープンキャンパス来場者数

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
来場者数		2,205	1,985	1,320	1,740	1,651
内、 学科 ガイ ダンス 参加 者数	人間関係学科	397	478	656	690	818
	人間福祉学科	200	159	242	285	232

資料4

就職希望者に占める就職者の割合

学部等名	卒業年月	就職希望者	就職者	就職希望者に占める就職者の割合
人間関係学部	平成26年3月	70	62	88.6%
人間関係学科	平成27年3月	85	80	94.1%
社会学専攻	平成28年3月	77	74	96.1%
	平成29年3月	97	96	99.0%
	平成30年3月	86	84	97.7%
社会・臨床心理学専攻	平成26年3月	65	56	86.2%
	平成27年3月	72	68	94.4%
	平成28年3月	72	71	98.6%
	平成29年3月	77	74	96.1%
	平成30年3月	61	60	98.4%

## 資料5

## 卒業生に対する求人受理件数の割合

学部等名	卒業年月	卒業生	求人受理件数	割合
大妻女子大学	平成26年3月	1,632	7,686	4.7 倍
	平成27年3月	1,585	9,130	5.8 倍
	平成28年3月	1,619	10,232	6.3 倍
	平成29年3月	1,581	11,893	7.5 倍
	平成30年3月	1,577	13,341	8.5 倍